学校番号	３０１３

令和３年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	美術２（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画や彫刻の分野では様々な表現活動を体験し、よさを味わい関心を深めながら、計画的に制作を進めていきましょう。
・デザインの分野では目的や機能を考えながら表現活動を充実させていきましょう。
・鑑賞する授業では、表現形式の特徴や形体・色について考え、作者の心情や表現の意図を読み取とって自分の表現につなげていきましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート グループ活動の様子 鑑賞シート	ワークシート アイディアスケッチ 制作中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準
			a	b	c	d	
前期	美術の心得	(デザイン) ・オリエンテーション 教科書や配布プリントを見ながら授業内容について知る。 ・色彩構成 色鉛筆を使って感情のテーマを決めて、プリントに着彩する。	○ ○	 ○	 ○		a:授業で考えて欲しいことを理解し、表現、鑑賞の大切さを知る。多様な表現に関心を持ち意欲を高めている。 b:テーマや条件から形や色彩などの働きを考えながら構想を練り、表現しようとしている。 c:色彩構成の目的を理解し、色鉛筆の美しさなどを生かして工夫しながら表現する。
	伝統文化を知る	(鑑賞) ・教科書から日本文化に関する作品を選び、イメージや特徴についてグループで話し合う。 ・グループごとに発表する。 ワークシートに記入	○ ○			○ ○	a:日本の伝統的な文化の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。 d:日本の伝統文化のよさや形式、主題や表現方法を学び、日本及び諸外国の美術文化についての理解を深めている。
	墨アートを体験しよう	(絵画・彫刻) ・画材について学びながら伝統文化を知る。 ・墨染め技法を学ぶ にじむ和紙に墨染め技法を試していく。 ・制作	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○		a:表現の意味や効果に関心を持ち、意欲的に表現しようとする。墨による様々な技法、表現方法を体験し、柔軟な発想や工夫する能力を意欲的に身に付けようとしている。 b:墨を使った様々な表現を通して柔軟な発想や工夫する能力を身に付け、独創的な主題の生成ができる。 c:表現したい主題に応じて、道具や素材、表現方法や生かしかたを工夫しながら多様な表現ができる。

前期	和のランプシェイドをつくろう	（絵画・彫刻）（鑑賞） ・構想を練る ・下書き・制作 テーマを設定し、ランプシェイドのデザインを考える。 和紙に墨で制作する。 ・和紙をランプに貼付け、組み立てる。 好みにあわせて彩色する。 ・相互鑑賞	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○	a：表現の主題を深め、創造的な画面構成を工夫し、和紙の持つ特色や美しさを生かして表現しようとする。 b：想像を働かせてイメージを膨らませて、主題を生成する。 c：墨の特性、技能を習得するとともに、にじみやぼかしなどの表現のよさや美しさを理解する。 d：他の生徒のよさや美しさ、作品のテーマや表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えを持ち、理解している。
後期	スプーン（おたま）にうつった自分（自己をみつめて）	（絵画・彫刻） ・教科書の鑑賞 ワークシートに記入 ・観察、スケッチ スプーンの角度、距離を変えてポーズを決定する。 ・制作	○ ○ ○	 ○	 ○ ○	○	a：表現したい主題を自ら生成するために自分自身の内面に働きかけている。 b：対象よく観察し、デフォルメによって変化する形のおもしろさを感じとり、美しさや情感を基に発想をする。 c：スケッチやデッサンを繰り返し行い、対象の特徴をつかむ力を身につける。 ｄ：他の生徒の作品の良さを味わうことができる。
	デザイン技法	（デザイン） ・スクラッチ技法 スクラッチ技法について理解し、ポスターカラーを使って線構成を意識する。 ・フロッタージュ技法 フロッタージュ技法について理解し、凹凸のあるものを構成する。 ふりかえり	○ ○	○ ○	○ ○		a：美術の様々な技法、表現方法を体験し、柔軟な発想や工夫する能力を意欲的に身に付けようとしている。 b：心豊かに生活する上でデザインが果たしている役割について理解し、用途や美しさを考慮して表現を構想している。 c：材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して条件や計画を基に表現している。

後期	自由課題制作に挑戦	(絵画・彫刻)(鑑賞) ・課題設定 自分で課題を設定し、使用する用具や材料を決める。参考資料などを見る。 ・アイディアスケッチを考える。 水張り→下描き ・本画制作 最大B1パネルサイズまでの大きさまでで、制作する。 ・相互鑑賞・	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	 ○	a:自由課題から、自己の考えや夢や想像などを基に、主体的に表現しようとする。表現することの楽しさを味わい、表現意欲を高めている。 b:想像を働かせてイメージを膨らませて主題を生成し、表現方法を工夫している。 c:設定した題材や素材の特性を生かし、意図に応じて表現方法を工夫して、計画を基に表現している。 d:作品のよさや美しさを深く味わい、題材のとらえ方や表現方法のよさ、美しさに対し自己の意見を述べることができる。	アイディアスケッチ 鑑賞シート 制作途中の作品 作品 鑑賞活動の発言や様子

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。